

テーブル脚用ジョイントの強度及び姿容の向上支援

企業紹介

有限会社 奥谷木工所

- 代表者：奥谷 俊和
- 所在地：木曾郡木祖村小木曾223
- 従業員数：8人
- 事業内容：ろくろ棒挽物
木製食器加工販売
- 連絡先：0264-36-2520



作業場風景

(有)奥谷木工所は豊かな自然に囲まれた木曾郡木祖村で昭和53年創業、ろくろ技術を追求し続け、お客様に高品質の「ろくろ製品」を提供しています。

支援を受けて

納品後テーブルの脚がジョイント部から取れてしまつたトラブルの解決を最初に相談しました。

その後ジョイント部をより強く、より美しくなるよう助言をいただき、お蔭さまで当初の思惑通りの製品となり嬉しく思っています。

これからも商工会のお助けを頂きながら成長したいと思っています。



奥谷 俊和 社長

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

有限会社奥谷木工所は、木工品の「ろくろ加工品」の製造販売を業としている。ろくろ加工したテーブル用脚の製造販売を行っているが、販売の際、テーブルに繋ぐジョイントも併せて販売している。

このジョイント部の改良を行い、「強度」と「見た目の美しさ」を向上したいとの相談があり支援を行った。



ジョイント部



水平力試験

■実施した支援内容

ジョイントを構成する部品の検討、ジョイント部脚の加工形状、ボルトのねじ込み方法等を検討し支援した。

ここで決定した内容を取り入れた試作品を作製し、松本市の長野県工業技術総合センターで、JIS S1205「家具・テーブル強度と耐久の試験方法」7.2水平力試験を実施し、テーブル脚用ジョイント強度の確認を行った。

支援の結果及び今後の展開等

強度試験は、テーブル天板の上に100kgの重りを載せ、天板の側面を荷重60kgfで10秒間、10回押付け接合部の強度に問題がないか評価した。規格荷重60kgfにおいても、テーブルの変位量は12.6mmで規格の20mmを下回り、十分な強度が保たれていることが確認できた。よって我々が検討し用いたジョイントを添付してテーブル用脚を販売しても、何ら市場において問題がない事が証明できた。これからは、自信を持って当社製品をPRし、ネット販売等で顧客増大を展開する。商工会は伴走型支援を念頭に都度相談相手となって支援を続行する。

支援を実施して

上席専門経営支援員 西川 登

当社へはH28年から断続的に支援を行っており、今回は前回実施した支援の改善版であった。奥谷社長は、今までの支援でしっかりと学習されており、スムーズに問題解決ができた。

これからも商工会と一緒に当社を見守り、支援を継続していく。



木祖村商工会 山口 一幸 統括経営支援員

